

## デザイン教育研究会のおしらせ 2013-vol.3

事務局 日本デザイン専門学校 金子武志  
〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷 5-7-3  
TEL03-3356-1501 E-mail kaneko@ndc.ac.jp  
デザイン学会 教育部会 URL <http://jssd.jp/modules/tinyd5/index.php?id=51>

今年度は「教養としてのデザイン」をテーマに掲げ開催して参りました、その3回目の研究会となります。

テーマ 「モノ・コトの意味を探る」～デザイン教育と地域連携実践活動報告

発表者 高橋 綾 (造形デザイナー、群馬県立女子大学デザイン准教授、日本デザイン専門学校非常勤講師)

日時 2014年1月24日(金) 18:00～20:00

会場 日本デザイン専門学校 渋谷区千駄ヶ谷 5-7-3

人々の生活に必要な「モノ」を生み出すデザイナー。

「モノ」の意味には機能や形だけでなく、消費者が使っていくうちに生み出す新たな価値や感情、思い出などの「コト」も含まれています。私が大学で指導している内容は「モノ・コトの意味を探る」です。

今、社会で重要視されている「モノ」と「コト」の意味をデザイン実践を経験しながら探るのが目的です。

具体的な活動内容は主に3つです。

1. アートやデザインを活用した地域活性化
2. 病院へのアートの導入
3. 中小企業へのデザイン提案

今回、デザイン教育研究会から「教養としてのデザイン」というテーマをいただきました。

教養とはなんでしょうか？

「その人が学習して得た知識を全て取っ払った後に残るもの」と聞いたことがあります。

まさにデザインは知識だけでは解決できない総合教養だと思います。

今回お話しさせていただく「モノ・コトの意味を探る」地域連携実践活動は、デザイン実践を経験しながら探る総合教養であり、そのタネだと考えています。

高橋 綾 (たかはし りょう)

造形デザイナー。群馬県立女子大学デザイン准教授。日本デザイン専門学校非常勤講師。環境芸術学会会員。R2DESIGN 代表。人と社会の活性化研究会事務局長。

人と社会の活性化を目指したアート&デザインの研究及び、気軽に芸術と関わることのできるアイテム (Kinetic Toy) の開発を進めている。

東京芸術大学大学院美術研究科修士課程 1997 年修了後、同大学助手を経て株式会社富士通ゼネラルデザイン部へ 2000 年に入社。

2002 年退社後、群馬県立女子大学文学部美学美術史学科のデザイン

専任講師に就任。(2006 年より准教授)

2005 年より同大学と兼任で日本デザイン専門学校講師として教鞭をとっている。

主な受賞歴 (抜粋)

1995 東京芸術大学美術学部デザイン科卒業制作展 デザイン賞

2003 第14回生活者のデザイン展 銀賞

2010 Contemporary Toy of the Year 2009 創作玩具公募展 佳作

2013 第4回神戸ビエンナーレ創作玩具国際コンペディション 準大賞  
環境芸術学会学会賞 奨励賞

### 【会場へのアクセス】 会場が前回と異なります。ご注意ください。

日本デザイン専門学校 渋谷区千駄ヶ谷 5-7-3 <http://www.ndc.ac.jp/info/accessmap.html>

JR 代々木駅または千駄ヶ谷駅、都営地下鉄大江戸線代々木駅 徒歩 5 分

東京メトロ副都心線北参道駅 徒歩 3 分

\*教育現場に携わる先生方やデザイン・教育に関心のあるデザイナー・作家・学生の方々など、お誘い合わせの上どうぞ。多数の参加をお待ちしております。本研究会はデザイン学会の所属に関係なく、どなたでも自由に参加できます。

問合せ 日本デザイン専門学校 金子武志 (教育部会・主査)

TEL03-3356-1501 E-mail kaneko(at)ndc.ac.jp